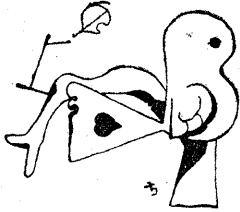


# 排泄と精神衛生



吉 常 藤 加

精神分析学派の学者は「人格の目ざめは、唇と肛門にある」と言っている。「唇」とは飢えを満たすのに、不可避な身体の箇所であるので、ここに感覚の通つてゐることは明らかである。この感覚に飢えを満たす折々の状態が通じて、各個の人格がそれぞれに形成されてゆくことを明かにしたものである。肛門が同じ役割を果すものであることは十分に考えられる。即ち、その排泄状態如何がそこに通ずる感覚に影響を与えることを意味するものである。こう考えると、幼い児の排泄状態の意義は大きいと言わなければならない。本稿で取扱おうとする内容は、主として異常な排泄がどんな風に子供の人となりに影響するか、またこれを避けるためにどうすべきかについて考えるものである。

## 一、有機体と排泄物の有害

生理面からなめた排泄の主なもの、排便と排尿の二種である。前者は小腸、大腸内で営まれた消化作用によつて生じた残渣、それに腸内で発生した腐敗物などが生理作用によつて肛門から体外に排泄されることを意味

し、また後者は身体の代謝作用、即ち、体内でできた蛋白質の分解物、また腸内で蛋白質がふはいしそれが体内で吸収解毒された不要な物質が主な材料で、それが尿となり、一度膀胱に蓄積されてから、尿道を通つて体外に排泄される作用をいう。本稿の内容を取上げるのに際して、特に留意したい点は、これら排泄される物質とは、有機体である身体にとつて極めて有害なものであるということである。たとえば、便の蓄積は直ちに消化作用を阻害するし、尿の蓄積は屢々膀胱炎、腎臓炎、尿毒症などの原因となる。このような生理的な障碍を招かないまでも、それが感覚機能、ひいては精神生活の面に様々なよくない結果を招くことである。特に、精神衛生の立場から、後者の面のものを大きく取上げようとする。

## 二、感情と排泄

左の観点から、特に問題にあがつてくるのは感情である。即ち、人の抱いている折々の感情が、排泄に様々な影響を与えることである。そのうち特に目立つたものとして、あげ

られるものは激怒、衝動、不安感などである。

### イ 激怒と排洩

人が非常に怒りを招いた場合、生理面にさまざまな変化を起す。即ち、血液の循環系統では、心臓の鼓動がはげしくなり、血液は身体の表面にあらわれ、従つて充血する。分泌腺は多く活潑に動き出す。即ち発汗し、副腎からはアドリナリが血液に分泌される。反対に消化器系統の分泌腺、たとえば、唾液であるとか胃液の如きは分泌が停止する。激怒を抱く場合、排洩作用で特に目立つものは、便泌を起すことである。時に下痢を起す場合もあるが、前者の私たちをとるものも相当ある。それは、怒ることによつて、腸内に熱が発生し、腸内の残渣に加わつている水分が減少することに原因するものである。人が怒つた後に経験するものは頭痛であるが、この主なる原因は、充血にもなつて、脳の活動を過激にさせたこと、血液内に加わる異常物質（例えば、アドリナリンの如き）の刺激もあげられるが、便秘にともなう腸内の有害な毒素が血液に混入して、禍することがあげられる。

### ロ 衝動と排洩

衝動は屢異常な排尿をおこすものである。排尿を営む膀胱の排尿節（三層の平滑筋から成つている）及び膀胱から尿道に移るところにある二種の括約筋には交感神経と副交感神経とが通じており、前者は膀胱壁を緩め、また括約筋を収縮して尿を膀胱内にとどめる役をもち、副交感神経は前者と反対の役目を果している。

ところが、人が激怒に驚いたような場合、膀胱の機能に非常に大きな影響をあたえる。すなわち、排尿筋は自動的に収縮しだす。つまり、ここに反射作用が起る。従つて、膀胱壁を圧迫するので排尿が起る。この種の排尿としてながめられるものは、子供が暗いところでおびえたようなとき、或は母親からひどく叱られたようなときに見られる。この種の排尿で、特に母親また子供を世話するものが留意しなければならぬ点は、それが生理現象であるということ、換言すれば、子供の意欲ではそれを阻止することのできない性質のものであるということである。これが理解されずに子供が取扱われる場合は、彼らの身心によくない結果を招くこととなる。

### 一例 或る七才の子供が日頃母親から命令

されていた五時の工場のサイレンが鳴つたら家に帰りなさいとの言いつけを守らなかつた。その日子供は年長の子供に誘われて隣の祭礼に出かけてしまつた。母親が家にかへつても子供はおらぬ。子供はその夜七時頃になつて帰宅した。母親は子供を非常に叱つた。子供は地だんだ踏んで泣きだした。子供は激昂が高まつて「おしつこが出る」「おしつこが出る」と言つて、便所に行くのし間にかわず、遂に「そそお」をしてしまつた。そうすると、母親は「手のないところをパンツを濡らしてしまつた」と言つて、子供をひどく叱つた。この出来ごとは子供に母親に対する親しみを失わせるようになり、子供は以後母親よりは父親に多く話をするようになった。

この出来ごとは、生理的事情に基いた排尿とは、子供にとつて不可避な性質のものであることを教えるものである。

### ハ 不安と排洩

読者は、読者の幼い時代の記憶をたどるならば、幼年期の読者が夜火事をながめたときに、手足がふるふるえ、歯ががくがく音をたて、身体全体がかたくなつたことを思い起せるであらう。このよ

うなときに経験させられたいま一つの出来ごととは、排尿をもよおしたことであると思う。それも今便所に行つたのに、また行きたくなくという経験であつたと思う。これは要するに不安感が排尿を催させたのに外ならないのである。人が激昂する場合は前述したように不可避的に排尿させるものであるが、不安の場合はそれほどでなく排尿を催させるのに止る。これは、人が不安を抱くと、排尿筋に徐に収縮を起させるからである。

この種の排尿行為で幼い子供によくみられるものでは、幼稚園の新入園児や小学校の入学児童が排尿時間の隔りが非常に接近して便所に行きたがることである。その原因は新しい環境に精神がまだ順応できておらないところから起つたものであるから、これを救う時間を特別に設けてやらなければならない。また、寝る前に怖いお話を聞かせたりすると、子供は夜尿を招くもので、その原因も、お話からくる恐怖にあるのである。故に、この種の話は子供には絶対に避けなければならぬ。

## 二 場が排泄を即応させない

排泄とはそ

れが欲望にもとづいて起つてくるもので、快の経験がともなうものである。アメリカ人が排泄を「カムフォータブル」の代名詞を以て言い表しているのをみても判る。ところが、この「カムフォータブル」は、排泄の場がそれを起させるのに相応しくないならば、これは得られない。特に、日本の排泄の場である便所は、幼い児に快の経験を得させるのに極めて不都合な点が多い。それをあげるならば、次のような諸点である。

1、便所の壺が非常に深くして、下を向くと奈落の底の感じを与える。実際、子供が落ち込んだら容易ならないことになる。この恐怖感を起させるところでは、到底安心した排泄をおこなえない。

(ii) 夜間、便所が暗いために、こが恐ろしい感じを与える場合。

(iii) 田舎家では便所が母屋と離れているのが大部分である。夜間は到底行かれない。

以上の諸点をそれぞれの方法をとつて改めてやらなければならない。

## 2、いがめられた生活と排泄

次に、子供が社会生活の面で、いがめられ

た状態に置かれた場合、彼の精神はそれがその儘反映することは当然のことで、これが排泄に与える影響はまた大きい。この主なものを挙げることにする。

(i) 抑圧排泄 子供が大人から、特に親から抑圧された場合、排泄におよぼす影響は大きい。例えば、親から常に叱られている子供、干渉されている子供、監視されている子供、これらの子供がもつ生活経験とは、自分より体力の優れている大人から抑圧された状態に置かれているということである。もし子供が勝れているならば、彼は大人に挑戦することができる。然し、子供である彼には、それができない。結局、子供は押しつけられた状態に置かれてしまう。しかし、その子供は親の抑圧に直接対抗できない代りに、対抗の代更の道を排尿の行動に見出すのである。すなわち、この子供は排尿に思いつきり力を入れるのである。よく男児が排尿に力を入れて凱旋門をつくって気晴らしをしている情景をみとどけることがあるが、その原因にこの種の動機を見出す例がある。

その実例 九才の男児で、父親が勤務先か

ら帰つてくると、茶の間の側面の腰羽目板を目がけて思い切り力を入れて排尿する。しかし、その子供にとつてはそれが無意識に近い行動である。茶の間を目がけて排尿するとは、帰宅した父親がその座敷に座つて夕刊をみる習慣があるからである。この家庭には二人の男児がいて、兄が十二才である。ところが父親は兄を偏愛している。余り豊でない家計から兄には子供用自転車を買つて与え、親戚の家には日曜日には長兄は連れて行くが、弟を連れてゆこうとはしない。のみならず、弟はよく叱られる。その原因の一つは弟は学校の成績も長兄にくらべて勝れておらず、且つ乱暴者であるからである。

結局、この種の不適応行為の改め方には、父親が彼の兄弟の不公平な扱方また弟を叱ることを止めること以外にないわけである。

(ロ)愛情をとり戻そうとしてフロイド学派の人たちがよくあげる夜尿の原因に、子供が親、特に母親の愛情をとり戻そうとするのにあるというのがある。つまり、子供に弟が妹が生れる。今まで自分にそそがれていた親の愛情が下の子供に移つてしまう。すると、上

の子供は親の愛情をとり戻そうとする。これが潜在意識となり、夜中上の子供を幼児時代にかえして母親の手を自分にかかせようとするのが夜尿になつてあらわれるのであると説く。これは穿つた説明として聞くに価するものである。ただ、私はこれを証明する実例を見てないので確証するわけにはゆかない。本稿の結尾として考えたい点は、もし子供の排泄の不適応行為があるならば、それを検討して安全な精神状態にかえすための指導また治療をほどこしてやるといふことである。

日本私立幼稚園連合会編纂

### 全国私立幼稚園名簿

B五判 一二〇頁 額価一五〇円

一一六円

全国国立幼稚園長会編

### 全国国立幼稚園名簿(近刊)

B五判 六四頁 子価一二〇円

一一六円

発売所 株式会社 フレーベル館

## 誕生の日

月曜の子はお顔がきれい、

火曜の子はおひとがら、

水曜の子は愁いがち、

木曜の子は遠く行く、

金曜の子は可愛らしうて気前よく、

土曜の子はあくせくかせく、

安息日に生れた子供こそ、

きれいでお利口で、

おとなしうて元気。

(イギリス古代童謡)